

公益社団法人松阪青年会議所  
2017年度 基本運動方針

社会開発委員会

委員長 深田 龍

《委員会スローガン》

優しいひとであふれるまちづくり

《基本運動方針》

松阪青年会議所が発足した63年前と比べ現在は、ひととひとが容易にコミュニケーションをとれるようにと進化した携帯やパソコンは便利なツールとなり、地球規模による情報ネットワークが構築され、誰もが個人を主張でき、仲間を見つけ、個性として多様な生き方が認められるようになってきました。一方で、ひととひとが直に会う機会をつくりながら対話を行い、違う価値観や考えに触れ、吸収することで他者を理解することも大切です。

社会は常に変革していくが故に、その流れを見つめながら我々はより良い世の中をつくるために、一日一日を大切に生き、未来に向けた日々の積み重ねに努めなければならないと考えます。当委員会では、ひととひととが分かり合えるように対話を行い、価値観や考えの違うことを受け入れ、他人を認め合えるひとをつくることで、相手のことを想えるひとで溢れるまちづくりを行います。そのために当委員会が担当する例会では、価値観や考えの違いをあぶり出し、その違いを理解し合うことでひととひとのつながりを生み出します。そのつながりを更に高めることで、共に助け合って暮らせる絆に変え、地域の力を高められるまちづくりを行います。

新年会では新体制をお披露目し交流を深め、まちづくりへ向けた協力体制を継続する機会を創出します。

氏郷まつりの事務局運営では関係諸団体の方と協力し、松阪の歴史・文化を発信できるよう円滑な運営を図ります。

また、三重ブロック協議会事務局運営の主管LOMの担いと会員の拡大については、委員会の枠にこだわることなく助け合う精神を持って取り組んでいく所存です。

委員会メンバー一同、一人ひとりの個性を認め合い・磨き合い・助け合う気持ちを持ちながら、他者を知り、理解することから始めていきますので、皆さまのご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。